

道志山塊の最高峰を歩く

御正体山

実施日 2013年5月6日(月・祝)
 天候 快晴
 リーダー 渋谷京子 S L 中村友子
 参加者 一柳昭、涌井良明、大村巖、山崎富美恵、鈴木恵美子、小村井好枝、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、遠井謙策、村友子、伊藤久雄、石原勝正、徳山敬子、小名秀鋭、藤政司・熊本紗江子 計17名
 費用 JR高尾⇄大月1,140円 富士急都留市→大月450円 バス450円 タクシー2,240円 計4,280円
 タイム JR大月駅(8:20タクシー)道坂トンネル東側(8:50~9:00)道坂峠(9:15~9:18)岩下ノ丸(10:05~10:10)白井平分岐(11:10~11:15)御正体山頂(12:05~12:35)峰宮跡(12:57~13:03)1166地点車道(13:55~14:00)ゲート(14:30)御正体山入口BS(14:45~15:22)バス都留市駅(15:55)

山笑う季節、GWの最終日、総勢17名のメンバーは大月からタクシーに乗り、道坂トンネルの登山口に降り立った。標高1000mを超え陽春の陽射しは強いものの頬をなでる風は爽やかで心地良い。トンネルを抜けた東側よりゲート脇から



左へと旧道に入る。道志山塊の中で最高峰の御正体山は何時か登ってみたいの一つであった。樹林帯をトラバースして一汗かくと尾根上

の道坂峠に出る。振り返ると今倉山の稜線が東西に

広がっている。衣服調整をして岩下ノ丸へ続く尾根道を進む。いくつかのアップダウンを繰り返して登り着いた所は1228m峰



で道坂峠と御正体山を指す道標が立っている。更に暫く進むと三等三角点のある岩下ノ丸のピークに着く。小休止後、右は新緑の自然林、左はヒノキ林の中を下

り密生した笹の道を過ぎると1292mの牧ノ沢山である。広々とした尾根道の左側には道志と丹沢の山々が連なり眺めが素晴らしい。可憐なスマイル達が足元を彩っていた。



プチ稜線漫歩を楽しみ下ってかから白井平からの道を合わせる。エネルギーを補給して400m程を登り詰ると山頂に到着。山頂は広く一等三角点と御正体山大権現社の小祠が祀られている。平成16年皇太子殿下登頂記念の立看板があった。登山者は我々のみで、まさに独り占め(17人か)で何とも贅沢な気分!のんびり



り昼食を摂り写真に納まり下山にかかる。下りは北へ向かい抱付岩を右に巻き、まもなく石灯籠が残る峰宮跡に着く。分岐から10m程の所は西側の樹林が切れ絶景の富士山が望める。目を凝らすと真ん中にジグザグの登山道を発見。季節は確実に初夏へと移ろいつつある。余韻を残しつつ道標に従い細野方面へ向かう。

ロープが張られておりブナ、ミズナラ、唐松等の広葉樹の海原に身を委ね急降下して行く。暫くすると視界が開けコンクリートの車道に飛び出す。



これが結構急坂で膝と腿が悲鳴を上げ、30分もすると傾斜も緩みゲートを通り、更に三輪神社からバス停を目指して進む。美術館を過ぎたりで右折し別荘地に入り遠回りをしたようだ。先着組から遅れる事15分、皆さんにご心配を掛けてしまい反省しきりです。参加された皆さん、大変お疲れ様でした。静寂の山歩きを満喫出来たでしょか? 又、ご一緒に!!

0さんは私の早とちりで迷い込んでしまい少し遅れから遅れる事15分、皆さんにご心配を掛けてしまい反省しきりです。参加された皆さん、大変お疲れ様でした。静寂の山歩きを満喫出来たでしょか? 又、ご一緒に!!

(記・渋谷 京子)

(写真提供・涌井良明/石原勝正/伊藤久雄)